実は銚子市

門松の生産量

なんと！

日本一

とも…

竹の切り方
松の置き方
藁の入れ物
飾り方たくさん!

え、そうなの？門松界隈

❶笑い竹　節目を入れて切るため、にっこり笑顔がかわいい特別な門松。※通常、節目は縁起が良くないとされているため珍しい一品

❷一般家庭用の門松　1m以下のかわいい門松がお買い求めできます。小柄でも凛として素敵。新年の贈り物に。

❸都内にたくさん！銚子ブランドの門松
都内の門松は、ほとんどが銚子のもの。スカイツリー、テレビ局、有名なあの企業にも・・・。

「銚子の門松はブランドもの、見栄えが全然違う。（門松市場の担当者談）」

門松研究家も驚愕の出荷量！

兄の浩之さんは竹を担当、弟の洋輔さんは松を担当。
代替わり当初、500対作るのも本当につらかった。
3日間、寝ないで作り続けるほど過酷な現場。

「やり方を変えて、今がある。」

作り方は企業秘密。過酷な体験が大量生産に活かされている

全国的に有名な関西地方の産地でも門松の出荷量は1社あたり600～900対。銚子市には1社あたり1000対作る業者が複数ある。その中でも、浜鈴総芸は2000対を出荷。評判も上々。まさに日本のキングオブ門松屋。

なぜ、門松づくりが盛んなの？

隣の旧波崎町で材料の松が手に入り、東京から3時間圏内の商圏にあったことから、市内の植木屋さんを中心に盛んに生産が行われたといわれています。

最近の門松市場って、どう？

いま、クリスマス用の花木の市場が停滞中。お正月に向けた門松に熱い視線がそそがれてている。東京市場の担当者がわざわざ挨拶に来るほど。生産者もびっくり。

1番のやりがいは？

市内をはじめ全国の名所に銚子の門松が飾られていること。これが1番。銚子の門松屋さんが減らないよう、日本一の門松ブランドを守っていきたい。
たくさんの人に、銚子の知られざる魅力を発信していきたい。

門松って、どんな意味があるの？

五穀豊穣の実りを与えてくれる年神様が家を見つけやすいよう、目印の松飾りを立てたことが始まり。左右一対で飾るのが基本。向かって左側に雄松（黒松）、右側に雌松（赤松）を飾ります。

中心にはそれぞれ長さが違う竹が3本。どの位置にどの長さの竹を配置するか、それぞれ意味が違ってきます。竹の長さは7：5：3。荒縄を巻く回数は、下7回・中5回・上3回。すべて2で割り切れない縁起物の比率。1番長い竹と7回巻いた荒縄は男。1番短い竹と3回巻いた荒縄は女。真ん中の竹と5回巻いた荒縄は、仲を取り持つといった意味があるといわれています。

▶飾る期間
松の内の期間（12月13日～1月7日　※関西は1月15日まで）
12月28日は、幸運を意味する「末広がり」の8が含まれ、縁起が良い日とされています。この日に門松を飾ることも多い。

＼兄弟の連携で約2000対の門松を作る。
門松マニアもうならせるハーブガーデン・ポケットの店主さんに聞いてみた／

うさぎにも
会えるよ♥

日本一の門松で、銚子を発信。

株式会社浜鈴総芸 代表取締役　鈴木浩之さん

問 ～海のそばのハーブ園～ ハーブガーデン・ポケット ☎(25) 3000